

2016年3月期 第2四半期 決算資料

(決算の概要 および 通期業績予想)

2015年10月30日



JFE 商事 株式会社

- 1 . 2016年3月期第2四半期連結決算のポイント
- 2 . 連結損益計算書
- 3 . 連結貸借対照表(要約)
- 4 . 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)
- 5 . 2016年3月期通期連結業績予想
- 6 . 〈参考〉売上高・経常利益推移(連結)

1. 2016年3月期 第2四半期連結決算のポイント

売上高・経常利益

鉄鋼製品について、市況の先安観から単価が下落、さらに在庫調整の影響により販売数量が減少したことから、前年同期比、売上高は317億円減収の9,145億円、経常利益は16億円減益の98億円。

四半期純利益は、前年同期比55億円増益の62億円。

2. 連結損益計算書

(億円)

	第1Q (4-6月)	当2Q (7-9月)	当四半期 (4-9累計)	前年同期	増減(累計-前年同期)	
					増減	増減率
売上高	4,651	4,494	9,145	9,462	317	3%
売上総利益	208	201	409	371	38	10%
(利益率)	(4.5%)	(4.5%)	(4.5%)	(3.9%)	(0.6%)	
販管費	158	158	316	262	54	21%
営業利益	50	43	93	109	16	15%
営業外損益	4	1	5	5	0	
経常利益	54	44	98	114	16	14%
特別損益	-	6	6	71	65	
税引前 四半期純利益	54	38	92	43	49	112%
親会社帰属 四半期純利益	37	25	62	7	55	786%

売上高・売上総利益

JFE商事(単独)	627	1
国内子会社	132	+2
海外子会社	+213	+41
連結修正	+229	4

販売費及び一般管理費

一般経費の増 他

特別損益

前年同期は、固定資産の減損損失に伴い特別損失を計上

3. 連結貸借対照表(要約)

(億円)

	当四半期末 (9月末)	前期末 (3月末)	増減
総資産	6,799	7,017	218
総負債	5,098	5,345	247
純資産	1,701	1,672	29
有利子負債	1,639	1,573	66
有利子負債倍率 (DER)	1.00倍	0.98倍	0.02倍
自己資本比率	24.2%	23.0%	1.2%

総資産

前年同期末比 218億円減の6,799億円

現預金	+ 55	
売上債権	229	
棚卸資産	+ 84	他

純資産

《 29億円増の内訳 》

四半期純利益	+ 62億円
評価・換算	30億円 他

有利子負債

前年同期比 66億円増の1,639億円

有利子負債倍率(DER)

= 有利子負債 ÷ (純資産 - 少数株主持分)

自己資本比率

= (純資産 - 少数株主持分) ÷ 総資産

ネットDER

= 有利子負債から現預金を控除して算出

4. 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(億円)

	当四半期 (4 - 9月)
営業活動によるCF	16
投資活動によるCF	14
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	2
財務活動によるCF	58
現金同等物の換算差額他	1
現金及び現金同等物の増減	55
現金及び現金同等物 (期首)	251
現金及び現金同等物 (当四半期末)	306

営業活動によるCF

経常利益	+	98	
減価償却	+	37	
在庫の増		84	
法人税等の支払		66	他

投資活動によるCF

有価証券の売却			他
---------	--	--	---

財務活動によるCF

借入金等の増減			他
---------	--	--	---

経常利益

(億円)

今回公表値	前回公表時 (7月30日)	増減	
200	230	30	13%

中国ミル製品の過剰な供給による鋼材
 価格下落等の影響を受け、厳しい販売
 環境となることが見込まれることから通期の
 経常利益は、前回公表値比 30億円の
 200億円を想定。

5. 2016年3月期 通期連結業績予想 その2

鉄鋼業界の動向

【国内】

在庫の適正化は遅れているものの、下期以降、自動車分野を中心に製造業の生産水準向上、建設分野でも一部大型プロジェクトの施工が年度内に開始されることが想定され、鉄鋼製品需要の回復が期待される。

【海外】

中国ミルの過剰な鋼材供給が継続、加えて米国をはじめ各国のAD提訴により、中国製品がアジア市場を中心に更に輸出される懸念があり、厳しい環境が続くものと考えられる。

JFE商事の打ち手

【国内】

加工・販売体制を活用した提案型の営業活動により製造業向け鋼材需要を捕捉。また、建材・鋼管分野においても、製品販売に加え、工事管理・管材供給等を通じて付加価値を創出し、お客様へ提供する。

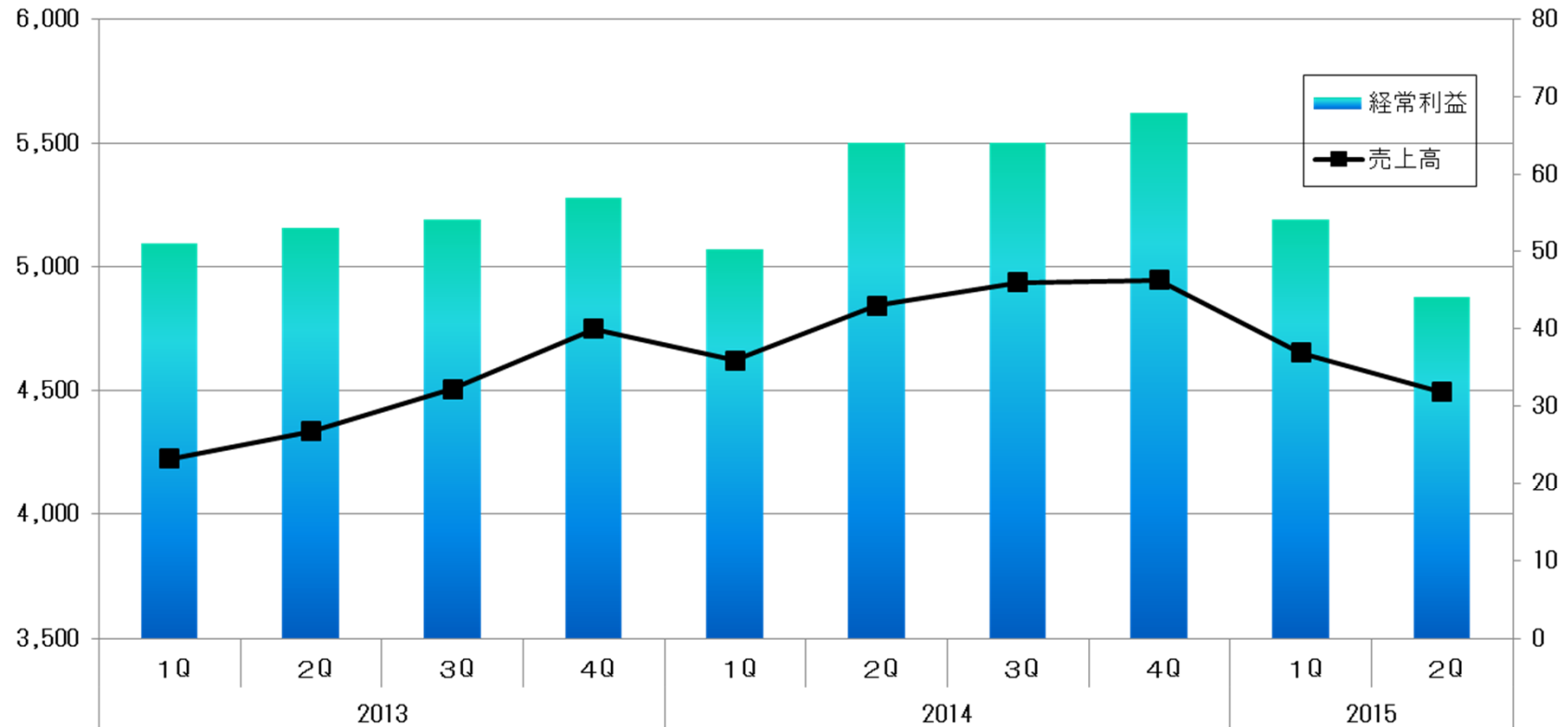
【海外】

新規市場の開拓を進めるとともに、M&A・出資等により系列化した各社の販売網を活かし、地産地消のビジネスを積極的に展開する。

【原材料・資機材】

JFEグループ各社の安定と低コスト操業に向けた機能を更に充実すると共に、これまで培ってきたノウハウを活用し、グループ外との取引や三国間取引の拡大に一層注力する。

6. 《参考》売上高・経常利益推移（連結）



（億円）

	2013年度				2014年度				2015年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	4,224	4,334	4,506	4,749	4,621	4,841	4,937	4,945	4,651	4,494
経常利益	51	53	54	57	50	64	64	68	54	44



JFE

* 本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって見通しと異なる場合があります。